

一般演題 1 O1-02

潰瘍性大腸炎術後患者における HBOT の有効性の検討—CONUT スコアを用いた評価—

○室屋大輔^{1,2)} 灘吉進也²⁾ 山田小綸²⁾ 甲斐雄太郎²⁾
増田 徹²⁾ 後藤陽朗²⁾ 岡本好司¹⁾

1) 北九州市立八幡病院 救急科
2) 戸畑共立病院 臨床工学部

【背景と目的】

潰瘍性大腸炎 (ulcerative colitis ; UC) を含む炎症性腸疾患において HBOT の有効性が報告されている。さらに栄養指標である CONAUT スコアが UC の病勢と相関していると報告されている。

【対象と方法】

手術した UC 患者 21 例 (HBOT 施行群 6 例と非施行群 15 例) が対象。

【結果】

術前において CONUT スコアは、小野寺の予後栄養指数 (PNI) と逆相関し、血小板数、C 反応性蛋白 (CRP) 値、赤血球沈降速度 (ESR) と正相関を示した。さらに、HBOT 群は術後 1 か月時点で非 HBOT 群よりも CONUT スコアが低く (2.0 vs. 4.4, $p=0.0190$) 良好な結果であった。

【結論】

IBD への HBOT 治療および UC 術後患者での CONUT スコアの有用性が示唆された。

参考文献

- 1) Muroya D, et al. Gut microbiota and hyperbaric oxygen therapy. *Med Gas Res.* 2025 ; 15(4) : 548-549. doi: 10.4103/mgr.MEDGASRES-D-25-00018.
- 2) Lian Z, et al. Association with controlling nutritional status score and disease activity of ulcerative colitis. *J Int Med Res.* 2023 ; 51(8) : 3000605231184046. doi: 10.1177/03000605231184046.

